**2026年度大学院博士全科生入学者選考**

**合理的配慮申込届**

**１．本人情報**

　　フリガナ

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　　生年月日（西暦）　　　　年　　月　　日( 　　歳)

住　所　〒

　　電話番号　　　　　　　　　　　　　　　　　　E-mail

　　（放送大学に在学したことがある方）在学時の学生番号

　　出願予定プログラム　　　　　　　　　　　プログラム　　受験予定学習センター　　　　　 SC

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※サテライトスペースでは受験できません。

　　研究題目

**２．障がいの状況**※該当する□にチェックを入れてください。

障がいの種類　□視覚障がい　　□聴覚障がい　　□肢体不自由

□内部障がい（内蔵機能、呼吸器、免疫機能等）　　□その他の慢性疾患

□精神障がい　□発達障がい

　　　　　　　 □その他（ 　　　 　　　 　 ）

　 症状（病名等）

　　障害者手帳の有無　□有（　　種　　級）　　 □無

　　介助の必要性　　 □要（本人との関係：　　　　）　□無

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 障がいの種類 | 該当欄 | 障　　が　　い　　の　　程　　度 |
| 視覚障がい | □  □  □  □ | ①点字による教育を受けている方  ②良い方の眼の矯正視力が0.15未満の方  ③両眼による視野について視能率による損失率が90％以上の方  ④上記以外の視覚障がいの方は障がいの程度を具体的に記入してください。  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 聴覚障がい | □  □ | ①両耳の平均聴力レベルが１００デシベル以上の方  ②上記以外の聴覚障がいの方は障がいの程度を具体的に記入してください。  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 肢体不自由 | □  □  □  □ | ①体幹の機能障がいにより座位を保つことができない方又は困難な方  ②上肢の機能障がいにより筆記をすることができない方又は困難な方  ③下肢の機能障がいにより歩行をすることができない方又は困難な方  ④上記以外の肢体不自由の方は障がいの程度を具体的にご記入ください。  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 内部障がい  その他の慢性疾患 | □ | 慢性の内蔵機能、呼吸器、免疫機能等の疾患状態が継続しており、何らかの医療・生活規制を必要とする方又はこれに準ずる方は障がいの詳細及び程度を具体的に記入してください。  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 精神障がい  発達障がい  その他 | □ | 上記以外の障がいの方は障がいの詳細及び程度を具体的に記入してください。  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**（次頁あり）**

**３．合理的配慮の希望欄**

（１）「受験上」における合理的配慮

希望する合理的配慮の□にチェックしてください。なお、希望する配慮によってはご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 希望する配慮 | 受験上 | |
| １次選考  （筆記試験） | ２次選考  （面接試問） |
| ①専用駐車場の確保  ※2次選考を対面で実施するプログラム受験者のみ対象 | □ | □ |
| ②点字又は音声による出題  （希望する出題形式：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  （英語の点字形式　：　　　　２級点字　　　　１級点字　　　　）  　　※英語の出題があるプログラム  修士：生活健康科学、人間発達科学、社会経営科学、人文学  博士：全プログラム | □ | － |
| ③試験問題の拡大化（A3サイズ） | □ | － |
| ④別室による受験  （理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □ | － |
| ⑤希望座席による受験（前、中央、後）  （理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □ | － |
| ⑥試験時間の延長（通常の1.5倍）  （理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □ | □ |
| ⑦車椅子の利用 | □ | □ |
| ⑧補助犬の同席 | □ | □ |
| ⑨介助者による入退室補助  （理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □ | □ |
| ⑩手話通訳者の同席 | □ | □ |
| ⑪持参した上で解答する際に使用  ノートパソコン（インターネット接続不可、文書作成・点訳辞書・CD再生ソフトなどの使用目的で持込可）、拡大読書器、点字盤、点字タイプライター・点字ディスプレイ、表面作図器（レーズライター）、拡大鏡（ルーペ）、視覚障害者用算盤、照明器具、特製机等  （使用道具名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □ | － |
| ⑫点字用紙による解答 | □ | － |
| ⑬解答用紙の拡大化（A3サイズ） | □ | － |
| ⑭介助者による解答補助  問題の対面朗読、解答の代筆、解答の墨字化、パソコンの操作補助  （補助内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  （理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □ | □ |
| ⑮筆談またはZoomのチャット機能による面接試問  ※Zoomのチャット機能による面接試問はZoomによる面接試問を行う  　臨床心理学・社会経営科学プログラム以外のプログラム受験者のみ対象 | － | □ |
| 上記以外で希望する受験上の合理的配慮がある場合は、希望する配慮と理由を具体的にご記入ください。） | | |

**（次頁あり）**

（２）入学後（修学上）の合理的配慮

|  |
| --- |
| ①希望する研究指導教員  ※大学院案内を参照し、所属を希望するプログラムに在籍する教員を記入 |
| ②入学後に研究指導等において希望する合理的配慮と理由を具体的にご記入ください。  （「受験上」における合理的配慮と同様の配慮のみ希望する場合は、その旨だけご記載いただいても結構です。） |

これらの情報は、どのような配慮が必要か、本学と申請者との相談・協議のためにお聞きするものです。

お答えいただいた内容が、合否に影響するものではありませんのでご安心ください。

----------------------------------------------------------------------------------

○個人情報等の取り扱いについて

（１）放送大学は、合理的配慮の事前相談及び実施等に当たって知り得た個人情報（氏名、住所、障がいの内容、現在受けている介助・支援・受診状況等）の保護に十分留意し、支援業務に必要な範囲に限って使用します。

（２）放送大学は、合理的配慮において連携する学外の第三者等と上記個人情報を共有することが適当であると判断した場合は、法令に基づく場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ることとします。

○修学上の合理的配慮について（サポートメニュー）

合理的配慮の内容等の詳細は以下のページをご参照ください。

　「障がいのある方への修学支援」

https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/accessibility/support/